



コロバだより

2021. 3. 1. No. 26

発行 沖洲放課後クラブ(愛称 コロバクラブ)

〒770-0874 徳島市南沖洲1-3-4

携帯 090-7626-5643 (加戸)

メール okinosu.hot.chapel@gmail.com

背中を見せるられる存在として

コロバクラブ指導員(徳大総科3年) 加藤 蓮



本年度のコロバクラブは、コロナウイルスのため制限が多く、例年どおりとはいかなかったと思いますが、子どもたちの元気さに変わりはなく、元気を分けてもらえるようでした。子どもたちの積極性や譲り合いなど、目に見えて成長していく姿、柔軟で自由な発想に目を見張るばかりです。これからもよく学び、よく遊び、たくさんの経験を通して大人になっていくと思うと、それが楽しみであると同時に、彼らに背中を見せられる存在でいられたらいいなと日々の励みにもなります。また、最後になりましたが、コロバクラブの

関係者のみなさまには大変お世話になりました。次年度もお変わりなく過ごせますようお祈りしています。

※ 蓮先生の温かく誠実なご指導のお蔭で、コロバの子どもたちものびのび楽しく過ごせました。感謝 !!

笑顔に癒されて

コロバクラブ指導員(徳大総科3年) 武田 真智子

今年はコロナの影響で、時間が短縮されたり、料理をしたりすることもなかなかできません

でしたが、それでもいろいろ工夫しながら、子どもたちと様々な経験ができてとても楽しかったです。また、コロバに来るたびに、子どもたちの笑顔に癒され、とても元気を貰いました。



※ こちらこそ、みんなが真智子先生の笑顔に癒されました。来年度は中学校の先生目指して頑張ってくださいね。みんなで応援しています。

貴重な体験や学び

コロバクラブ指導員(徳大総科4年) 大荒 里菜

家庭の事情等で大学院進学の内定を取り消し、就職活動を行っており、コロバクラブへ参加ができませんでした。大学最後の年に、子どもたちと関わる機会も少なく卒業となってしまう、大変残念に思っております。コロバクラブでは、私の方が教えられることばかりで、本当にたくさんの貴重な経験や学びをいただきました!!最後に直接ご挨拶ができず、誠に恐縮ですが、本当に3年間お世話になりました。 ※こちらこそ3年間感謝します。また、ぜひお立ち寄り下さいね。

ウィズコロナ時代の自然体験

コロナクラブ 指導員 坂本 紗智子



今年度のコロバスペシャルキャンプは、新型コロナ感染拡大のまっただ中で行われました。何度も変更に次ぐ変更で、今年度の開催は無理かとも思い始めた頃、急に徳島県立牟岐少年自然の家空きがあることが分かり、3密を避け、8名と言う少人数で行うことに決定しました。

コロナ禍でのキャンプのねらい

は、日ごろコロナのために制限の多い生活を強いられている子どもたちに例年以上に、豊かな自然の中で楽しい活動を体験してもらい、美しい海で存分に泳ぎ、砂浜で遊ぶ体験や自然を観察する体験等を通して、自然の素晴らしさやその恩恵に対する感謝の心を育てるとともに解放感を味わって欲しいと思いました。また、異年齢のグループ遊びやゲーム・他者との交流や協力を通して、コミュニケーション能力やメンバーシップ、自尊感情や問題解決能力を高めた。参加者の中では一番年上で、お世話係として選ばれた小学4年生2人には、自己有用感とリーダーシップを養いたいと考えました。

そして、このねらいは以下の2点のおかげで、初めのねらい以上に達成され、コロナ禍でも楽しく意義深いキャンプとなりました。

1点目は、宿泊場所として県立牟岐少年自然の家を選んだこと

牟岐少年自然の家は、目の前がとても美しい海であり、しかも小学生が泳いで渡れる磯があり、自然体験や自然観察に絶好の場所であること。さらに素晴らしい指導員がつきっきりで、指導してくれるお蔭で、充実の活動ができたこと。

2点目は、2日目の活動場所として出羽島を選んだこと

車が1台もなく、静かにゆったり時間の流れる広さわずか0.4平方キロメートルの出羽島は、島民の方々みんなが温かく親切で、「シャワーうちで、無料で使っていいよ。」「誰もいないけど鍵かかってないから勝手に家に入って。」「ネコ車、自由に使ってよ。」道を聞けば、誰もが親切に最後の曲がり角まで案内してくれる…etc.優しい島民に癒され、島の穏やかな内海に癒され、日ごろの喧噪を忘れました。もちろん、島の暮らしや自然もしっかり観察できました。

ウィズコロナの時代だからこそ、これからも有名な温泉やリゾートホテルや大型遊園地ばかりではなく、自然豊かな静かな場所で、自然の恵みを、そして、人の温かさを存分に味わいたいものです。

《指導者や子どもたちの感想から》

- ・うみでシーグラスをいっぱいひろえたのがうれしかったよ。すなで、おしろをつくったのもたのしかった。よるのゲームがめっちゃめっちゃたのしかったよ。(年少)
- ・今年は、海の深いところに行けたのがうれしかった。いその観察で、ゴンズイ玉が見つかったよかった。シロガヤがどくがあるやつと分かってよかった。(小4)
- ・そめさんが、魚のことについていろいろ教えてくれてよかった。海ってさいこう！(小2)



島のメインストリート。ネコ車を貸して買ってシャワーの家へ

- ・島のみんながやさしくて、びっくりした。信号も車もコンビニもないけど心があつたかくなつた。手押しのネコ車がおもしろかった。水の大事さがよく分かった。(小4)
- ・今年は、キャンプが開催出来ただけで感謝感激だったが、自然の家の職員の方が本当によくして下さい、急な変更や除去食等についても快く応じて下さり、感謝溢れるキャンプになった。特に海の活動の指導スタッフの方は、水泳・磯の観察・砂の造形遊びの全ての活動を子どもたちの力量に合わせてよく指導して下さい、好天にも恵まれ、みんなが自然の豊かさや素晴らしさを十分に味わうことができた。(指導者 A)
- ・今年は、参加人数が少なかった分、子どもたちどうしのトラブルが全くなく、逆に4年生リーダーを中心によい異年齢集団ができたので、指導者としては、とても楽で楽しいキャンプになり有難かった。事後活動として、海の巨大絵が描けたのも嬉しかった。(指導者 B)

《コロナスペシャルキャンプ写真から》

①傘岐の海&海のお城がテーマの砂の造形 2020.8.10.



②癒しの出羽島 2020.8.11.



③キャンプに行けなかった子も事後活動の海の巨大絵で参加 2020.9.13

怖い添加物と小麦粉の話：添加物格付けチェック大会！ 2021. 2. 21

日曜の午後親子 18 名、皆が間隔を空けて座り、表題の添加物格付けチェック大会をしました。添加物たっぷりのแฮมやソーセージや餃子等とそうでない物を食べ比べるのですが幼児さんの正答率は平均 60%で、小学生は何と平均 90%の正答率で、100 点満点の小学生も 4 名いました。ただ、「おいしいなと思った方が、みんな添加物だらけの方だった。」と年長の女の子がびっくりしていたのと 100g の豚肉から水や添加物をいっぱい混ぜ込んで 120g~130g のแฮมが出来ることにびっくりしていたのが印象的でした。小麦粉についても輸入小麦は、ポストハーベスト農薬で畑の十~数百倍の濃度で、5 回も燻蒸していることを知り、びっくり仰天でした。また、添加物は遺伝子組み換え作物から作られているので怖いことこの上なし。しかも添加量の規制もなく入れ放題。ずっと元気に過ごすためみんなで良い物選びたいですね。



※コロナオリジナル資料が必要な方は、いつでも連絡お待ちしております。

《コロナの活動写真から》今年度は、制限が多かった代わりに日曜の午後もいっぱい活動できました。

